

— 仙 洞 御 所 —

ゆうしんてい そとこしかけ
又新亭の外腰掛



仙洞御所の北池の西に又新亭という茶屋があります。この茶屋は茅葺きの四間水屋付きで、簡素な竹の中門や外腰掛を配しています。

元々ここには修学院離宮から移築した止々斎ししさいという茶室がありましたが、嘉永の大火（1854）で焼失しました。明治になってからその跡地に京都御所の北にあった近衛家の茶室を移築したものがこの又新亭です。

又新亭から茅葺きの中門を経て少し離れたところにあるのが外腰掛で、屋根は片庇の柿葺きの建物です。北池の船着き場から苑路を隔てた先にあり、飛び石伝いに外腰掛に導かれます。向かって左の袖壁は半吹き抜け、右には竹格子の下地窓があり、雪隠が2つ裏側に備えられています。

腰掛けは幅約3メートルで、その内50センチは竹を簀の子状にし、斜めにカットされています。足元には踏石が置かれ、大人が4人ほど座ることができます。

外腰掛は又新亭と同様極めて簡素な造りとなっており、茶室（又新亭）の準備が整うまでの待合として、侘びの世界への導入口となっています。



外腰掛から眺める風景

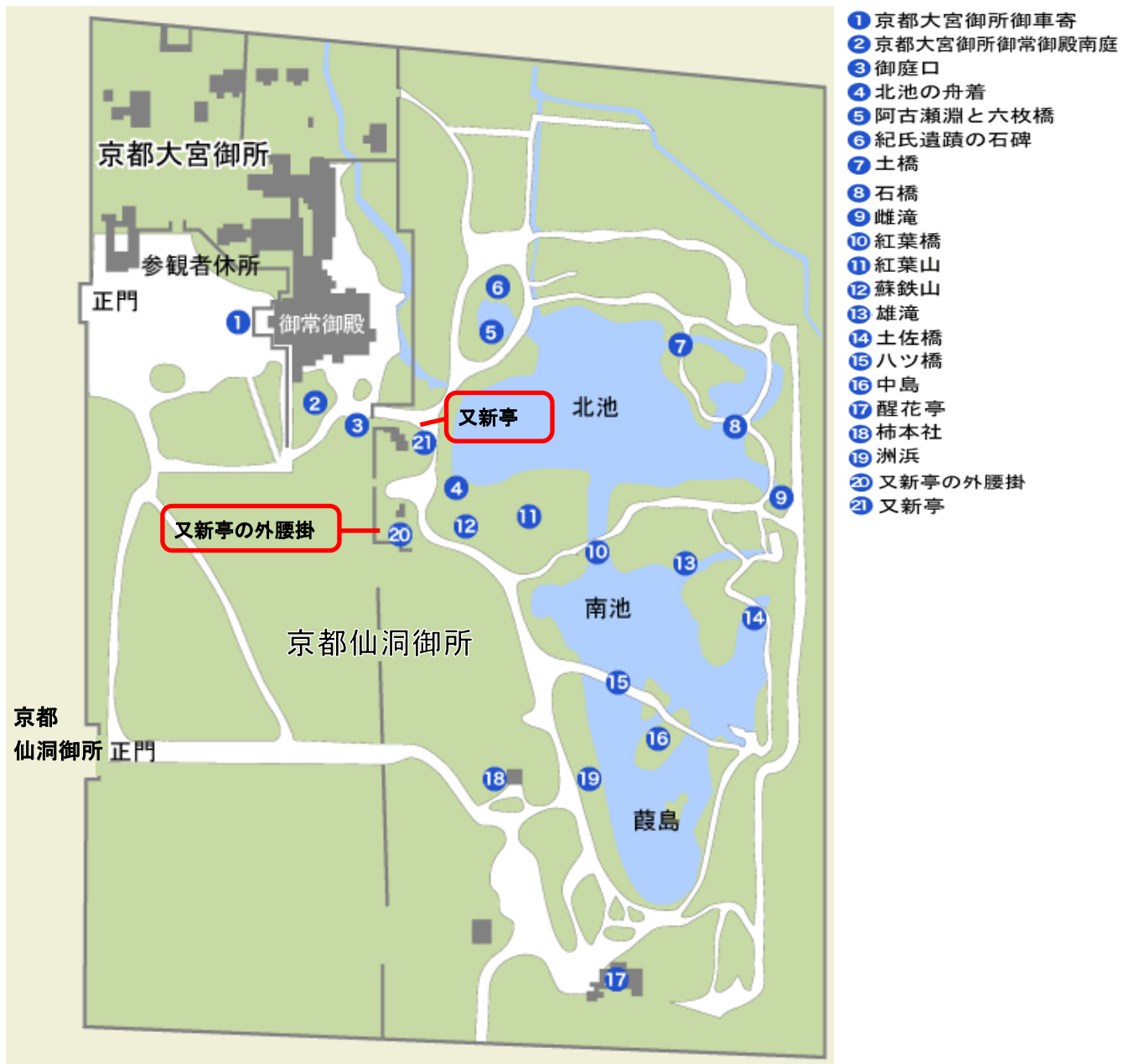


腰掛けと踏み石



竹格子の下地窓

京都仙洞御所・京都大宮御所案内図



観マークは、参観でご覧になれます。申込み方法は、<http://sankan.kunaicho.go.jp/> をご覧ください。

通マークは、申込不要の京都御所通年公開でご覧になれます。

詳細は、<http://www.kunaicho.go.jp/info/kyototsunen-sks-sankan.html> をご覧ください。

これまでの「《京都》御所と離宮の葉」については、宮内庁ホームページの[こちら](#)からご覧ください。

＜問い合わせ先＞

〒602-8611 京都市上京区京都御苑3 宮内庁京都事務所

代表電話：075-211-1211 参観係直通電話：075-211-1215